

令和5年度第2回碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

議事要旨

日時	令和6年3月1日（金） 午後3時～午後4時30分	
場所	碧南市役所 7階 議員大会議室	
出席者 ■出席 □欠席	推進会議 委員	<p>■ 瀬戸田市長</p> <p>■ 石川委員 ■ 横山委員 ■ 原田委員</p> <p>□ 磯貝委員 ■ 鈴木委員 ■ 金原委員</p> <p>□ 岩崎委員 ■ 今成委員 □ 岩間委員</p> <p>■ 小林委員 ■ 稲生委員 ■ 天野委員</p> <p>■ 鈴木委員 ■ 永坂委員 ■ 高須委員</p>
	事務局	山本総務部長、杉浦経営企画課長、杉浦経営企画政策推進係長、杉浦主査、磯貝商工課長、牧農業水産課長、中川環境課長
傍聴者	なし	
次第	<p>1 市長あいさつ</p> <p>2 碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の更なる推進に向けて</p> <p>3 碧南市のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進について</p> <p>4 意見交換</p>	
1 市長あいさつ	○市長よりあいさつ	
2～4	<p>○本日の議事録及び資料は市のホームページで公開することを説明</p> <p>○2から議長（市長）により進行、事務局から資料説明</p> <p>○3意見交換により聴取した内容は以下のとおり</p>	
委員からの主な発言		
次第2及び3よりの意見		
石川委員	<p>○近年まわりを取り巻く環境のスピードが早すぎると感じている。会員の企業の皆様たちが今まで以上に繁栄していけるように事業に取り組んでいかなければならないが、なかなか有効打がなく、苦慮しているところ。</p> <p>今後も市や各団体、企業の皆様に相談しながら、よりよい方向に向かっていきたい。</p>	
事務局	○市も引続きできることは協力させていただきます	
横山委員	<p>○株価が最高値になったが、碧南市の商店街では一部の飲食店や企業を除いては大変厳しい状況。各商店街も廃業に伴う会員数の減少や、店主の高齢化、なり手不足のために商店街の運営が難しい状況になっている。</p> <p>商店の活性化のための要望として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで離れてしまった客を取り戻すために、プレミアム商品券を発行して欲しい。 ・商店街の街路灯の修理・移転・撤去の補助を希望する 	

事務局	<p>○プレミアム商品券について、以前実施した紙媒体で行うと過去の傾向から煩雑になるため、電子化の研究をしている。</p> <p>○街路灯の撤去について各商店街にアンケート調査を行った。また、県では碧南市だけではなく、県内どこの商店街としても同じ悩みを抱えていることを把握しており、補助も考えているので、その動向を見ているところである。</p>
原田委員	<p>○へきなん美人の収穫が終わりを迎えるが、農家は豊作だったからといって収入がそのまま増えるわけではない。現在は資材高の影響も受けている。その中で、農作物のPRをしてくれる市には、感謝している。</p> <p>今後は、地域として農業を盛り上げて、守っていかなければならない。特に南部は盛り上がっている印象であるが、北部のほうも盛り上げていきたい。行政のPRも不可欠。今後もお願いしたい。</p>
事務局	<p>○碧南の特産と呼ばれているものは今後も変わらずPRをしていく。</p> <p>○収入に結びつかないところは昔からの課題であり、市として現状どうしようもできない部分はあるが、協力できるところはやっていきたいと考えている。</p>
鈴木委員	<p>○DXの推進は素晴らしいことであるが、業務の効率化は課だけではなく、市全体の取組として行うことが重要であるが、市全体として何か試みはあるのか。</p>
事務局	<p>○DX推進について、これまでは職員・時間の確保が課題となっていたため、市全体としてなかなかうまく進められなかった。そのため、今回新たな組織を作り、人員を確保することとなった。一部の課だけでは留まらず、全庁的にDX化を進めていく予定。</p>
金原委員	<p>○実施計画の中に南部市民プラザ大規模改修とあるが、東部市民プラザの大規模改修等も考えているか</p> <p>○公民館昇降機の修理の部品がないとのことだが、他の公民館には影響はないのか</p>
事務局	<p>○東部市民プラザは南部市民プラザに比べると新しい建物ではあるが、公共施設の長寿命化計画もあるので、タイミングがきたら、延命化を進めていくと考えられます。また、市としては、公共施設改修に係る基金もあり、計画的に改修していく予定</p> <p>○棚尾公民館に限らず、他の公民館にもいずれ影響は出てきますが、現状棚尾公民館のみである。</p>
今成委員	<p>○事業承継、創業者支援をすすめていく。中小企業に寄り添った事業をすすめていきたいと考えている。</p> <p>○説明にある新規事業はどういった観点で選ばれたのか。</p> <p>○DX推進について、我々もDX化をすすめているところ、お客様から内部の効率化だけを進めているのではないかと問われたりしている。</p> <p>市民の目線を意識し、市民のためになるようにDXを進めていってほしいと考えている。</p>

事務局	<p>○市では総合計画（10年間）で方向性を示しながら、実行計画に位置する実施計画（3年間）を毎年ローリングして作っている。その計画に新たに掲載する事業をまち・ひと・しごと創生総合戦略に当てはまる形で表している。</p> <p>○市民の皆様に対するDX推進について、将来的な目標として、市役所に来ずとも行政サービス受けられるような仕組みを目指していきたいと考えている。</p>
高須委員	<p>○子ども100番ののぼりがかなり傷んでいるのを見かけるが、まだ機能しているのか？機能しているなら、もう少し分かりやすくしてほしい。</p> <p>○くるくるバスのバス停の場所に疑問を感じる。住宅から遠く、まわりは田んぼのところにある。もう少し近くにあったらなと相談されたこともある。バス停配置の基準などはどのようになっているか。</p>
事務局	<p>○子ども100番について、制度自体はまだ機能している。目印がボロボロになっているのであれば意味がないので、担当課に伝える</p> <p>○バス停の位置については、当初より、人口をカバーできること、加えてバス停の間隔で決めているが、実態にそぐわないのであれば検討する。現在は商業施設等への買い物などに利用されているケースが多いので、利用者の利便性の関係でバス停を配置している。</p>
永坂委員	<p>○これまで自分自身で碧南市をずっと宣伝してきた。市民協働をキーワードに宣伝してきた。その中で著名な方を招き、勉強会などを開催して頂き、非常にうれしく思います。</p> <p>○市役所正面玄関の花がいつも枯れている。市役所の顔となるところなので、もう少し気にかけてほしい。</p>
事務局	<p>○いつも碧南市を褒めて頂きありがとうございます。今後も褒めて頂けるよう頑張ってまいります。</p> <p>○花が枯れてしまっていた原因として、時期が外れていた花を植えていたということもあったので、今後は定期的にしっかり管理するように所管課に連絡する。</p> <p>市役所の正面玄関は確かに顔ですので、令和6年度に正面玄関から東駐車場の植栽の整備をする予定です。</p>
鈴木委員	<p>○带状疱疹ワクチンの補助を検討してほしい</p> <p>○信号のない横断歩道が暗くて人が立っていても見えないところがあるので、どこに相談したらよいか。</p>
事務局	<p>○带状疱疹ワクチンについては、近隣市の動向見ながら進めていく。</p> <p>○市にご連絡頂ければ対応していく。</p>

天野委員	<p>○1年前、へきなん優良みやげ推奨品とふるさと納税のカタログがリンクしていないことを意見させて頂いたが、リンクする形になったのでより良いものになったと感じている。早急に動いて頂いたので、お礼申し上げたい。</p> <p>○能登半島地震について、復旧・復興が進んでいない。現地の方はかなり厳しい環境に身を置いている。碧南市はファーストミッションボックスを近隣市ではいち早く取り入れており防災意識が非常に高いと思う。きたる大地震において今後も啓蒙活動等進めていってほしい</p> <p>○DX推進について、KATCHも各自治体とDX推進を行っている。全国自治体での事例データもあるので一助となればと思う。</p>
事務局	<p>○DXについては目標を定めながら進めていく。様々な事例をお持ちのことなので、ぜひご協力頂ければと思う。</p> <p>○耐震化率について、市として90%進んでいて、西三河区域の中でもかなり進んでいる。</p>
稲生委員	<p>○DX推進について、自社でも進めているが、目的が手段になりやすく、使う人の目線が非常に重要であると感じている。作っている人は自己満足になりがちというところがあるので、ぜひ市民の目線、市役所で働く人の立場を踏まえた上での業務の効率化を目的として実施して頂けたらと思う。</p> <p>○結婚・出産、子育て支援について、子育てはまだまだ女性中心だと感じる。男性も参画できるような施策があってもいいと思う。</p>
事務局	<p>○市では男性職員の育児休業も取得したりなど、男性職員の育児参加など進んでいることから、意識も変わってきていると感じている。</p>
小林委員	<p>○人材不足が課題。有効求人倍率が4～5年ぶりに1を超えて、今後も人材確保が厳しい状態になっていくと考えている。</p> <p>○DXをうまく、早く進めている企業とそうでない企業で、人材採用にかなり差が出ている。DXがうまく進むと作業の効率化等により、労働者の有給休暇の取得がしやすいというデータもある。</p> <p>○くるくるバスを通勤手段としている方もいる。今後バスの本数を増やす、バスのグレードアップなどは考えているか。</p>
事務局	<p>○くるくるバスはコミュニティバスという位置づけであるため、通勤手段の時間に合わせることはなかなか難しい。今年度末に公表予定の地域公共交通計画のなかで、他市などで導入されているデマンド型のバスを前向きに検討していくなどの記載もさせて頂いており、利便性の向上も踏まえ、より市民に好かれるものになるようにしていきたい。</p>